



ピクセルソフトウェア株式会社 SDGs宣言

当社は、「社会・顧客に信頼されること」、「ピクセルソフトウェアにしかできない価値の提供」という理念のもと、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2022年9月15日

ピクセルソフトウェア株式会社

代表取締役社長 矢吹 隆志



重点項目(ターゲット2030)

高度な技術で信頼獲得

当社は制御・監視系システムの開発を通して、顧客・地域社会に必要とされる企業を目指します。そのために日々、技術力向上に努め、当社にしか出来ない価値の提供を目指します。

【主な取り組み】

資格取得支援、チーム制によるベテランから若手への集中的なOJT、社内研修の実施、安全基準の策定



ガバナンス体制の強化

コンプライアンスを徹底し、顧客の個人情報や企業情報を適正に管理するよう努めます。リスクマネジメントにも取り組み、企業のレジリエンスを高め、社会・顧客に信頼される企業を目指します。

【主な取り組み】

企業理念の明文化、権限規定等マニュアル策定とその遵守、BCP策定と定期的な訓練実施、定期的な法令動向の注視、取引先との対等な関係の維持



誰もが働きやすい環境づくり

すべての従業員がやりがいを持ち、健康で、安心して働くことができる職場づくりに努めます。一人ひとりのライフスタイルを尊重し、共創する会社を目指します。

【主な取り組み】

定期的な従業員面談による要望把握、属性によらない公平な評価、時差出勤・テレワーク等の柔軟な働き方の許容、受動喫煙防止対策、有給休暇取得推奨



地域社会への貢献

当社の業務は、ステークホルダーと持続的に発展できる関係構築が必須であり、地元の発展なくしてはあり得ません。これからも地元の一員として地域社会の発展に貢献します。

【主な取り組み】

地域活動・行事への積極参加、ボランティア活動への取り組み、災害時の食品備蓄、協力体制の構築



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。